



認定NPO法人「おもしろ科学たんけん工房」の副代表・藤沢地区代表を務める

柴田 憲男さん

湘南台在住 80歳

科学の面白さ、伝えたい

○…16年前の立ち上げ当初から携わってきた。「学問としてではなく、子どもたちに科学の面白さを直に体感してもらおう」。そんな志で集まった数人の集まりは今や200人を超す会員を擁し、年間のべ150講座を開く組織に成長した。会場確保や人集め。軌道に乗るまでは紆余曲折の道のりだったが「各メンバーの努力あってこそ。その積み重ねが今につながっている」と目を細める。



○…日本ビクターで勤め上げ、音響機器開発の第一線に立ち続けてきた。今もレコードの愛好家から親しまれる「シバタ針」は、現役時代に自らが開発を手掛けたものだ。体験塾への参加は、発起人の一人だった会社の先輩に誘われて。定年退職後、技術畑で培った経験を生かし、地域向けに講座を開こうとしていた矢先だったこともあり、二つ返事で快諾した。

○…レモンで電池を作ったり、ソーラーカーや万華鏡を作ったり。講座のほとんどはメンバーが独自に考えたもので、本番に向けては入念なりハーサルを重ねる。原理を教えるお話はほどほどに、工作の時間をたくさんとって。会場に集まった子どもたちが物理や化学の仕組みを理解し、実験に成功すると一様に目を輝かせる。そんな瞬間が何よりのやりがいだ。「教えること自体が目的じゃなく、科学への興味を持ってもらいたい。そう考えてずっとやってきた」と感慨深げに語る。

○…「子どもたちを楽しませるにはまず自分が楽しむ」がモットー。傘寿を迎え、地区代表になった今でも講師として教壇に立つ。自らが考案し、電磁石をテーマにした「紙コップヘッドホン」は定番の人気講座のひとつだ。教える先の子もたちに思いを馳せ、何より自分自身が工作を楽しんで。活動の原点は今も昔も変わらない。

1 機械学習とは？

コンピューターが自律的にデータから洞察を導き出す機械学習。詳しい解説はこちら。

SAS Institute Japan

2 定年後経験を活かし

大手企業や官公庁、ベンチャー企業や個人事業主など多様な事業者があなたの知見を持っています。

株式会社ビザスク

あっとほーむデスク

5月4日0:00更新

4月27日0:00更新

4月13日0:00更新

[藤沢版のあっとほーむデスク一覧へ](#)

イベント

[一覧へ](#)



山内病院で看護フェス

市民健康講座も開講

5月12日

[藤沢版のイベント一覧へ](#)

[最近よく読まれている記事](#)